

鹿屋市立鹿屋女子高等学校
なのはな学校だより
 平成30年4月20日発行〈第1号〉

「心機一転」



私は、平成29年4月に鹿屋市立鹿屋女子高等学校に着任し、2年目を迎えました校長の林匡です。一年目、本校生徒・職員の様々な取組を目の当たりにしながら、本校の伝統と新たな息吹を感じてまいりました。

平成30年度、本校は、創立61周年の新たな一年を迎えました。本年度も、それぞれの目標や課題に向かって様々な活動に取り組む307名の在校生、158名の新入生を、職員も積極的に、精一杯支えていきます。

私は、4月6日(金)の始業式では、在校生に対して、「心機一転、新しい学年のスタートをきってほしい。何よりも、何事にも一生懸命取り組んでください。」と話しました。中堅学年としての新二年生、高校生活の集大成を迎える新三年生は、それぞれ、これまでの取組を後悔することなく、これからに活かす反省を行いながら、充実した一年となるよう、「何かに力を尽くしてみよう」ということを意識して前に進むことが大事です。

また、4月9日(月)の入学式では、新入生に対して、「今晴れてこの場所にいること」を大事に考え、「人としての自立、自律」に取り組む、人として成長してほしい、と伝えております。

高校時代は、試行錯誤が許される貴重な演習の時期です。ノーアタック・ノーチャンス。勉強に限らず、「あの時には必死になった。燃えた。精一杯やった。」と言えるものを、高校時代に生徒の皆さんが体験してほしいと、心から願っております。

この春に卒業した183人を加えた、16,983名の同窓生、生徒の皆さんを温かく見守っておられる保護者や地域の皆様、転退職された職員の方々。多くの皆様の、本校に対する期待、想いを受け止めながら、本年度も、地域に親しまれ愛される学校、地域になくてはならない学校を目指して、様々な教育活動に精一杯取り組んでまいります。是非、今後とも皆様の変わらぬ御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

この春に卒業した183人を加えた、16,983名の同窓生、生徒の皆さんを温かく見守っておられる保護者や地域の皆様、転退職された職員の方々。多くの皆様の、本校に対する期待、想いを受け止めながら、本年度も、地域に親しまれ愛される学校、地域になくてはならない学校を目指して、様々な教育活動に精一杯取り組んでまいります。是非、今後とも皆様の変わらぬ御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

第61回入学式

4月9日(月)、本校体育館にて第61回入学式が行われました。真新しい制服に身を包んだ新入生158名を迎え、新しい鹿屋女子高校のスタートを切りました。



対面式・部活動紹介

4月10日(火)、対面式が行われました。本校の伝統行事にもなっている「先輩から後輩への組章贈呈式」や「新入生へのメッセージカード贈呈」では1年生は先輩からの心温まるメッセージカードを受け取り、一気に先輩方との距離も近づきました。その後、部活動紹介で先輩方の生き生きとした姿を見て、部活動への入部について参考になったのではないのでしょうか。これからの高校生活がますます楽しみです！



宿泊研修

最高の高校生活にしよう！！

4月12日(木)から1泊2日の日程で、国立大隅少年自然の家(おおすみくん家)で新一年生を対象に宿泊学習が行われました。新しい友人との仲を深めながら、高校生活の基本的な過ごし方を学びました。



鹿屋女子高校の詳しい情報をホームページに掲載しています。鹿屋女子高校で検索してください。

鹿屋女子高校